

キャラクター名  
アメリア・イズールト・リデフォート

プレイヤー名

ベースシークエンス	グラディウス	レベル	7
アザースークエンス	クロスバイツ	性別	女
出生タイプ		年齢	18
出自	騎士	運命	統治
		瑕疵	

	初期	成長	他修正	能力値	一般判定成功率
体	12	7	2	21	51 %
知	5	1	2	8	38 %
敏	6	4	4	14	44 %
運	10	0	2	12	42 %

HP	97
MP	64
移動時 ウィル	12
戦闘時 ウィル	34

装備品		命中	威力	回避	命中	威力	回避	行動	防護
武器1	ディシペイト		17						
武器2									
防具	セイクリッド								10
インナー	対刃シャツ								2
アクセサリ	ストームプリンガー								
アクセサリ	ブルズホーン								
	能力値+ボーナス	36	6	13	27	0	5	14	0
アーツ	ディフェンダー								
その他									
総計(1)		36 %	23	13 %	27 %	0	5 %	14	12
総計(2)		36 %	6	13 %	27 %	0	5 %	14	12
総計(両)		36 %	23	13 %	27 %	0	5 %	14	12

所持品	
活動基本装備	
ヴァイタルドリンク	
カサブランカ	
ファイトラブ	
グッドファーザー	
ペイシャント	
上等な水着	
メンタルドリンク	
売り	

所持金：

預金・借金：

アーツ名	AL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	メモ
ライティング	1/3	3	アクション	自身	自身	0	
効果：	半径[20xAL]mの暗闇を照らす光球をてのひらの上に生み出す						
ライトエッジ	1/5	2	インスタント	自身	自身	0	
効果：	戦闘終了まで、あなたの攻撃は光属性になる。さらに与えるダメージに+[AL]。1キャラクターに1度のみ有効						
ディフェンダー	1/1	0	パーマナント	自身	自身	0	
効果：							
レイテント・パワー	1/1	0	インスタント	自身	自身	0	
効果：	1シナリオ1回使用可能 ウィル5点を得る。ハイランダーのみ取得可能。アーツ枠を消費しない						
ダークエッジ	2/5	2	インスタント	自身	自身	0	
効果：	戦闘終了まで、あなたの攻撃は闇属性になる。さらにダメージを与えた場合、対象は鈍重状態になる						
ソウルシーバー	1/3	0	インスタント	自身	自身	0	
効果：	あなたの攻撃が敵にダメージを残したとき、あなたはMPを[AL]d6回復。1ラウンド1回使用可能。拡大不可						
ヒプノシス	1/3	4	アクション	自身	自身	0	
効果：	アルファコードやベータコードを持たないキャラクターを1分間意のままに操る。1シナリオ[AL]回使用可能						
カバリング	2/5	2	インスタント	同列	味方単体	0	
効果：	1ラウンド[AL]回、対象が受けるはずのダメージを肩代わりする						
ブラックアウト	1/1	2	アクション	自身	自身	0	
効果：	半径20m内の、アルファコードやベータコードを持たないキャラクターを昏倒させる シナリオ中[AL]回使用可能						
アトリビュション	1/1	0	パーマナント	自身	自身	0	
効果：	ライトエッジとダークエッジを、あなた以外の任意の味方キャラクターにも使用できるようになる						
フォトシンティシス	4/5	0	パーマナント	自身	自身	0	
効果：	いずれかのキャラクターが【光】属性の攻撃が宣言した時、あなたのHPを2x[アーツLv]回復する						
フォーティチュード	1/1	0	インスタント	自身	自身	0	
効果：	CL5以上のハイランダーのみ取得可能。1シナリオ1回だけ、HP0になる攻撃を受けた時、HP1でそれを耐える						
ブロッキング	3/5	5	アクション	自身	自身	0	
効果：	あなたが前衛にいる時、2体以上を対象に取る攻撃の命中判定直前に使用できるその対象をあなたのみに変更する。1シナリオに1x[アーツLv]回使用可能						
効果：							
効果：							

瑕疵・傷跡

騎士の家に生まれ、その領地をいつか譲り受けると思っていた。  
その領地は田舎ではあったものの、妻畑が風にうねる黄金の景色を好んでいた。  
しかし、ハイランダーに覚醒した時、父はこう言った。  
「ハイランダーならば、力で統治するのも可能だな」  
しかしアメリアは反発。あの妻畑は民と騎士の協力があってこそだと思っていた。  
そしてそんな父と距離を置きたいと思い、アサルトエンジンに入学した。

父親は厳しくもやさしく、ハイランダーになるまでは非常に愛していた。  
だからこそあのようなことを言ったのが信じられず、今まで信じてきたものが粉々になったかのように思えるほどだった。

力による支配を望まないアメリアのシークエンスが相手を意のままにすることができるクロスバイツであるのは、皮肉かもしれない